

ロンドン、2018年8月7日

パキスタンのカムラン鉄鋼から棒鋼圧延設備の近代化工事を受注

- 3期にわたる拡張計画の第1期工事
- 第1期工事で年産能力は15万トンに増強
- 近代化工事により歩留り向上、エネルギー消費低減、圧延効率改善を実現
- 新設備は第3期計画の年産能力25万トンに対応できる設計

プライメタルズテクノロジーズ（Primetals Technologies）は、パキスタンの鉄筋・棒鋼メーカーであるカムラン鉄鋼（Kamran Steel Re-Rolling Mills (Pvt) Ltd. : Kamran Steel）から、ラホールにある既設の鉄筋棒鋼圧延設備の近代化工事を受注しました。ホットランは2019年の第3四半期を予定しています。

このプロジェクトは、3期にわたる拡張計画の第1期にあたり、鉄筋棒鋼の年産能力を現在の10万トンから15万トンへの増強と、歩留り向上、エネルギー消費低減と圧延効率改善を目標としています。納入される設備は、今後予定される第3期計画まで対応できるよう設計されています。

1984年に設立されたカムラン鉄鋼はパキスタンの大手鉄鋼メーカーで、軟鋼のビレット、ばね鋼、異形棒鋼、異形鉄筋、ワイヤーロッド、さらにI形鋼、H形鋼、T形鋼などの形鋼も生産しています。同社は毎時最大25トン、年産能力10万トンの完全自動式棒鋼圧延機を稼働させており、断面100ミリ角のビレットから直径9.5~40ミリメートルの鉄筋棒鋼を最終製品として生産しています。近代化工事完工後は、本圧延設備により断面130ミリ角で最長3メートルのビレットから毎時最大30トンの鉄筋棒鋼の圧延が可能となります。

圧延ラインは第5世代レッドリング方式（Red Ring）圧延スタンドをHVHVHVHV配置（V：垂直、H：水平）で8スタンド装備した粗圧延機、HVHVHV配置で6スタンド装備した中間圧延機で構成されており、コブル（噛込み不良による圧延材の詰まり）を防ぐ目的で既設仕上げ圧延機と直列に接続され

ます。この連続粗圧延ラインにビレットを直送するために、加熱炉の搬出用ローラー装置の改造も行われ、付属設備として、熱間クロップ切断機、緊急用せん断機、ピンチロール、冷却床前の熱間分割用せん断機、冷間分割用せん断機が装備されます。

当社はプラントのエンジニアリングを担当し、主要機器、プロセス機器、自動化設備、給油装置、油圧装置、モーター及び駆動装置、電気設備、ベーシックオートメーション（レベル1）、ユーザーインターフェース（HMI：ヒューマンマシンインターフェース）のハードウェアとソフトウェアの納入に加えて、カムラン鉄鋼の担当分のエンジニアリング、組立、試運転をサポートし、オペレータのトレーニングも担当いたします。



プライメタルズテクノロジーズの第5世代 Red Ring 棒鋼圧延スタンド。パキスタンのラホールにあるカムラン鉄鋼の鉄筋棒鋼圧延機用として合計 14 基を納入へ。

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業における、エンジニアリング及びプラント建設全般の世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は、株式会社日立製作所ならびに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足した三菱重工のグループ会社です。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト: www.primetals.com